

～沖縄・海洋博公園プレゼンツ～  
**地球環境スポーツ 2005**  
**JAPANビーチサッカーチャンピオンシップ**



青森県代表

《グリッタ・パースンズB》

《沖繩のビーチを駆け回る》

平成17年12月17日(土)・18日(日)の2日間、ビーチサッカー日本一を決める大会「JAPANビーチサッカーチャンピオンシップ」が沖縄県本部町・エメラルドビーチ(海洋博公園内)で開催され、今年7月に折腰内ビーチにおいて開催した青森県大会を勝ち抜いた「グリッタ・パースンズB(五所川原市)」のメンバーが日本一を目指し、出場しました。

今年度の大会には地元沖繩から5チーム、九州から9チーム

本州から6チームの計20チームが出場しました。4チーム5つのグループに分かれリーグ戦を行い、各グループ1位の5チームと各グループ2位の中から上位3チームの計8チームが決勝トーナメントに進みます。順位は勝ち点によって決定され、サッカーと同じ方式を採用していません。

グリッタ・パースンズBは第4組に入り、初戦の相手は昨年度の代表チーム「おやじっチ」が対戦し敗れている神奈川代表「ボンファミ」。昨年度のリベンジをと、選手は気合を入れ試合に臨みましたが、後半残り5分を過ぎた辺りで、気合を入れ過ぎたせいか、選手に疲れの色が見え始め、最後は7対4で敗れてしまいました。選手達は昨年度のリベンジを果たせず落胆の表情を見せましたが、すぐに気持ちを切り替え次の対戦に備えました。

そして、いよいよ第2戦、今年ブラジルで開催されたビーチサッカーのワールドカップで世界第4位になった日本代表のメンバーが7人もいる今大会の優勝候補筆頭、沖繩代表「SOLMARPRAlA」と対戦。

MARPRAlA」が注目す

る中での試合は、前半こそ互角の試合を展開し、幾度となく相手ゴールに攻めよりましたが得点にはいたらず、後半に入ると徐々に自力に勝る相手チームのペースとなり、最後は3対0と敗れたものの、選手達の表情は自分達のサッカーができたという満足のゆく顔でした。

第3戦は鹿児島代表「Saltarishiki」との対戦。ここまで第4組、0勝2敗で決勝トーナメント進出はなくなっていました。最後の気力を振り絞り、青森県代表としての意地を見せ相手ゴールに攻めより、見事1対0で初勝利を収めました。結局は強豪がひしめくグループに入り、2年連続の決勝トーナメント進出はなりませんでした。

大会は予想通り沖繩代表「SOLMARPRAlA」の優勝で幕を閉じましたが、沖繩代表のチームが決勝トーナメントに4チーム進出するなど、とにかく沖繩のレベルの高さが際立つと同時に、青森県代表の選手にとっても、世界レベルのチームと対戦でき、非常によい経験ができた大会だと思えます。

来年も「折腰内ビーチ」を拠点に、東北で初めて発祥したビーチ

サッカーを町民一丸となり、また、近い将来、青森県代表が全国制覇、日本代表入りできることを願いながら盛り上げていきましょう!

第4組	ボンファミ	グリッタ・パースンズB	Saltarishiki	SOLMARPRAlA	勝敗	順位
ボンファミ(神奈川)		7 - 4	8 - 1	0 - 5	2勝1敗	2
グリッタ・パースンズB(青森)	4 - 7		1 - 0	0 - 3	1勝2敗	3
Saltarishiki(鹿児島)	1 - 8	0 - 1		0 - 2	0勝3敗	4
SOLMARPRAlA(沖繩)	5 - 0	3 - 0	2 - 0		3勝0敗	1

